

## 第22回女性生産者交流会報告

- (1) 11月30日～12月1日で、26の会員産地より55名の産地関係者が参加し第22回女性生産者交流会が開催され、1日目の全体会はパルシステム連合会東新宿本部にて25の会員産地51名の産地関係者、24名のパルシステムグループ関係者、オンラインにて51アカウントの参加のもとで開催しました。
- (2) 全体会は、渡部さと子副代表幹事、パルシステム連合会辻正一常務理事のご挨拶により開会し、参加産地による自己紹介に続いて、「パルシステムの取り組みに見る知産知消 ～恩納村漁協のモズクを事例に～」をテーマに鳥取大学地域学部准教授の大元鈴子氏による講演が行われ、ローカル認証と知産知消について知見を深めました。
- (3) その後、産地での情報発信例、産地から見た消費地(者)の知りたいこと、これから取り組みたいと考えていることなど、パルシステム商品の試食や試飲を交えて、グループトークの場で情報共有や意見交換が行われ参加者間の交流が深められました。
- (4) 2日目は会員生協別交流会が開催され、全会場で210名の組合員・役職員が参加し産地関係者との交流が深められました。
- (5) 次年度の女性生産者交流会は産地開催の年となり、村悟空(千葉)を受入れ産地として、2024年下期の開催を予定しております。

※1日目の全体会のアーカイブ配信につきましては下記のURLにてYouTube限定公開をしておりますのでご視聴いただければ幸いです。

2023年度 第22回女性生産者交流会(全体会) <https://youtu.be/LyUxpDUJBWo>

以上



全体会での交流の様子



全体会での集合撮影